

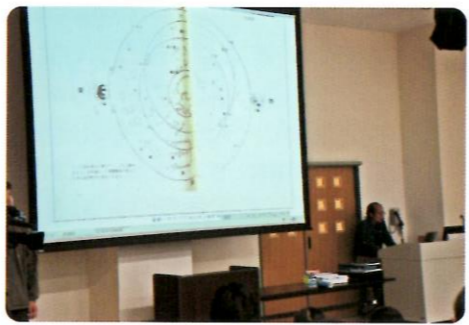
# お知らせ

# INFORMATION

**郡山市ふれあい科学館共催事業 古墳でお月見** **9月19日(日)** 18:00~20:00

けんそうの去った夜の古墳には独特の雰囲気があります。いつもと違った古墳の下、仲秋の名月を愛でながら、古代の星空に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。


- 内容: 星空解説と天体観望
- 募集定員: 親子30組
- 募集: 9月1日(水) 午前9時から電話またはガイダンス施設にて受付(先着順)。
- 参加料: 無料
- その他: 雨天の場合はガイダンス施設で解説のみ開催。



**壺づくり** **9月19日(日)・20日(月)祝** 10:00~12:00

往時の古墳上には特徴的な形の壺が飾られていました。壮観な様子を想像しながら壺作りをしてみましょう!


- 内容: 大人による大型の壺作り。
- 募集定員: 25名(大人)※2日間とも参加できる方。
- 募集: 9月4日(土) 午前9時から電話またはガイダンス施設にて受付(先着順)。
- 参加料: 無料
- その他: エプロンやジャージなどの軽作業に向けた服装をご用意ください。



**君も発掘探検隊** **9月26日(日)** 10:00~12:00

遺跡調査の方法としてみなさんもお存じの発掘調査。何がでくるか「ドキドキ! わくわく!」を模擬発掘をとおりて体験いただけます。


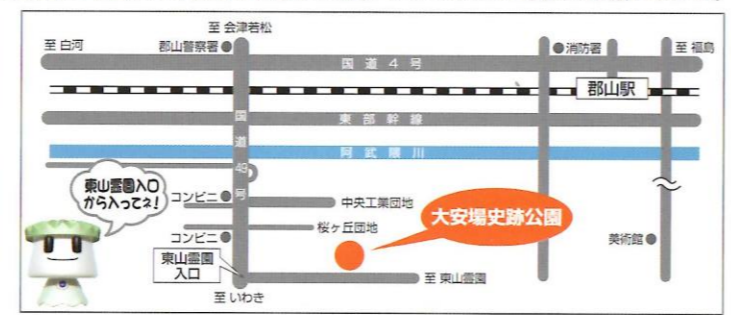
- 内容: ガイダンス西側で模擬発掘を実施。
- 募集定員: 15名(幼児の場合は保護者同伴でお願いします。)
- 募集: 9月4日(土) 午前9時から電話またはガイダンス施設にて受付(先着順)。
- 参加料: 無料
- その他: 土砂により服装が汚れます。運動くつや長靴をはいた上でエプロン・ジャージなどの軽作業に向けた服装をご用意ください。雨天の場合はガイダンス施設で土面作りを開催。



※都合により「写真展」と「古墳でお月見」の日程に変更がございます。ご確認をお願いします。

**大安場史跡公園** 発行: 平成22年8月31日

住所: 福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地  
 電話: 024-965-1088 FAX: 024-965-1090  
 URL: <http://www.bunka-manabi.or.jp/oyasuba>  
 Mail: [oyasuba@bunka-manabi.or.jp](mailto:oyasuba@bunka-manabi.or.jp)  
 休館日: 月曜日(月曜日が祝日のときは次の休日でない日)  
 年末年始(12月28日~1月4日)  
 ※公園は年中無休です。

紙へリサイクル可

適切に育まれた森から生まれたFSC認証紙と環境にやさしい大豆インキを使用しています。



おおよすばしせきこうえん **大安場史跡公園**

タイトルは、まるが石釧、さんかくが古墳の前方部、しかくは後方部を表現しています。

# まるさんかくしかく

第6号

大安場はイベント盛りだくさん! 遊びにきてね~!!



緑あふれる大安場でとらえた、子どもたちの姿をお寄せください。輝く笑顔は社会の宝。大安場史跡公園は親子のきずなを応援しています。




**第1回 大安場史跡公園写真展**

## 「おおよすばの子どもたち」フォトコンテスト

**作品テーマ** 大安場史跡公園でいきいきと輝く子どもたちの写真  
 ※子どもたちの様子と大安場史跡公園内の風景を入れて写した写真。  
 ※合成やトリミングなどの加工を施した写真は募集対象外です。  
 ※写真内に個人を特定できる肖像が入っている場合は必ず本人の同意を得てください。

**募集期間** 9月1日~9月26日(送付の場合は必着)

**送付先** 〒963-1161 福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地 大安場史跡公園 写真展フォトコンテスト係  
 ※持参される場合はガイダンス施設開館日の9時~17時に受付。

**審査員** 福島民報社写真部副部長 国分 真司氏  
 福島民友新聞社編集局写真部長 一ノ瀬澄雄氏

**表彰** 最優秀賞1点、入賞2点(福島民報社賞・福島民友新聞社賞)、入選5点

**応募規定** 10月3日:表彰式・ガイダンス施設内にて作品展示  
 平成21年4月4日~平成22年9月26日に撮影したもの。  
 ≪応募形式≫ カラープリント四つ切(254×305mm)・ワイド四つ切(254×365mm)またはA4  
 応募点数に制限はありません。

募集期間 9/1~26日

第1回 大安場史跡公園写真展 「おおよすばの子どもたち」フォトコンテスト

緑あふれる大安場でとらえた、子どもたちの姿をお寄せください。輝く笑顔は社会の宝。大安場史跡公園は親子のきずなを応援しています。

作品テーマ 「大安場史跡公園でいきいきと輝く子どもたちの写真」

募集期間 9月1日(水)~9月26日(日) 送付の場合は必着

送付先 〒963-1161 福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地 大安場史跡公園 フォトコンテスト係

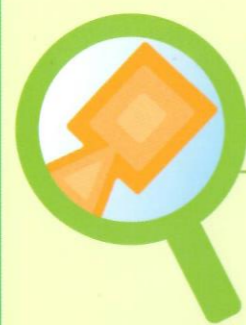
審査員 福島民報社写真部副部長 国分真司氏  
 福島民友新聞社編集局写真部長 一ノ瀬澄雄氏

表彰 最優秀賞1点、入賞2点(福島民報社賞・福島民友新聞社賞)、入選5点

応募規定 平成21年4月4日(水)~平成22年9月26日(日)に撮影したもの。  
 ≪応募形式≫ カラープリント四つ切(254×305mm)・ワイド四つ切(254×365mm)またはA4  
 応募点数に制限はありません。

主催: 郡山市教育委員会 協賛: 郡山市文化・学習振興公社  
 協賛: 福島民報社、福島民友新聞社





# 古墳ズームアップ

今回は、古墳の前方部について勉強してみよう。



大安場1号墳は前方後方墳と呼ばれる形をしています。本誌第3号では後方部の埋葬施設にふれましたので、今回は墳丘の北側を占める前方部について見てみましょう。

? 古墳がよく見える南側から見上げると「向こう側」になる前方部。なぜ「前」なのでしょう。



蒲生 君平 肖像 (蒲生神社蔵)

江戸時代の儒学者 蒲生君平は天皇陵を調査して『山陵志』をまとめ、その中で古墳の形を「前方後円」と表記しました。前方後円墳という語の始まりです。

前方後方墳の呼び名はこの前方後円墳に対応して円形の部分が四角い古墳を指す語で、1924年(大正13年)刊行の『島根県史』第4巻において、野津左馬之助が「この墳形に属するものは従来考古学者の記述に見ざる我国内希有のものなり」といい、また、同じ年に栃木県の考古学

研究家 丸山瓦全は『考古学雑誌』の「下野国の前方後円墳」という論文の中で「確に前方後方墳なり…」と記述し、偶然にも同じ年に「前方後方墳」という用語が使われ始めました。

前方後方墳という呼び方は学術用語であり、ずいぶん長いあいだ使われてきたのですね。

次回はさらにくわしく古墳の呼び方にせまっていきたいと思います。お楽しみに!

※「前方後方墳の世界Ⅱ」栃木県教育委員会1997より



「前方後方墳」という呼び方は80年以上前から使われてきたのですね。



たくさんの方が調べている古墳ですが、実は古墳の形についてだけでもまだまだ多くの謎があります。皆さんも色々と考えてみてくださいね。



## あしあと

### 古代の生活文化に触れる事業「古代グルメ体験」～古代米ちまきで梅雨しのぎ!～ 6月27日(日)

当園の人気メニュー「古代グルメ体験」。今回は古代米でちまきを作ることを通して、古代人の食生活、特に食品の腐敗防止の知恵に触れていただくというものでした。

当日は朝からあいにくの雨空でしたが、定員いっぱいの方にご参加いただきました。参加者の皆さんは「ちまき」と言うとなで包むものが一般的なので、はじめは不思議そうな表情をされていましたが、ちまき作りが始まると楽しそうに取り組んでいらっしゃいました。

ちまきを蒸す間は副食のスープ作りです。フリーズしてアク抜きをしておいたヨモギをばらしながら、具材の鹿肉を黒曜石のナイフで切り分けました。また、解説では、古代米を漬けておいた灰汁や竹皮の働きと古代米の色素に含まれる抗酸化作用について聞いていただきました。

ちまきが蒸しあがるには最低でも小一時間を要します。楽しみに待った後の試食では、「とてもおいしかった」「食べたことのない味覚を体験できた」「ボランティアの皆さん、ありがとうございました」などといった感想をお寄せいただくことができました。



当園のボランティアのアドバイスでちまきを巻く参加者。「なかなか難しいね」



カマドの上は…もわもわ…アツアツ…



意外といける?…塩味ではどうかしら…

### 「土器づくり体験」～野焼き～ 7月9日(金)



素焼き開始。これから長い時間を掛けて焼き上げます。

数ある団体向け体験の中で、最もハードで熱烈に人気を博しているメニューが「土器づくり」です。製作に2～3時間、乾燥が1カ月、野焼きによる焼成が4～5時間もかかるのです。しかし、苦勞が多い分だけ土器が出来上がった時の達成感もひとしおです。梅雨のさ中である7月9日(金)には、高野小学校5・6年生のみなさんが土器を野焼きして仕上げました。これらの土器は5月28日(金)に展示品を参考に創作したもので、1カ月以上かけて乾燥させていました。みなさんは焼き上がりまでの長い時間を野焼きの炎や古墳を観察したりして過ごしていましたが、出来上がった自分の作品を手にした時には、嬉しさいっぱいの表情でした。

当園ガイダンス施設ではこうした小学生の作品をエントランスホールにて展示しています。小学生の個性に富んだ作品を是非ご覧ください。



みんな、思い思いの場所で炎を見守ります。



冷却終了。「割れていないかな…」



完成。「やった～! できた～!」